

困っている方の力になりたい



明るくリラックスできる雰囲気の相談室



困り事があれば、気軽に相談してほしいと話す深村さん



北広島に事務所を構えて

JR北広島駅東口近くにあるビル2階の北広島法律事務所。弁護士・深村真人さんが1年半前に開いた事務所だ。小・中学生の時は北広島で過ごし、その後札幌に移り住む。大学院卒業後は、札幌の弁護士事務所勤務した。

「いずれは独立を」と考えていたときに、両親が住み、少年時代の思い出がある北広島で事務所を開こうと決めた。市内をはじめ、札幌市や長沼町などから相談者が訪れるそう。今年4月に住まいを移し、北広島市民になった。

委員として活動

北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議や市民参加推進会議の委員として、市の活性化のために尽力している。活動を通して異業種の方とも知り合い、交流が広がった。「自分は弁護士の仕

市内で法律事務所を開いた

深村 真人さん

ふかむら・まさと
北進町在住。
昭和57年生まれ。東部小学校・東部中学校を卒業。北海道大学法学部、同大学法科大学院を卒業し、平成20年に弁護士登録。27年1月に独立し、北広島法律事務所を開いた。市のさまざまな委員を引き受け、専門家の立場から、アドバイスをを行っている。

事しか知らないのでは、良い刺激を受けました。ほかにも寒地稲作に成功した中山久蔵翁のことなど、北広島には興味深い歴史があることを知りました。時間があるときに、もっと市内の様子を見て、委員の活動につなげたいです」。

人口増加やまちのにぎわいを創生するためには何が大事かを考えている。「さまざまな意見がありますが、若い方の定住を促すには雇用の機会があることや、起業しやすい環境が大切だと考えます。北広島には空き店舗利用促進事業があり、私も事務所設立時に利用させていただきました。貴重な制度を周知させることも重要だと思います」。

信頼される仕事を

事務所に寄せられる相談が増えてきた。特に交通事故や相続、債権整理などが多いそう。仕事をやる上で、心掛けている

ことを聞いてみた。「もちろん依頼者の立場を第一に考えますが、一方で入り込み過ぎることなく、客観的に選択肢を示すことが大事だと思います。楽観的な見通しを伝えるのではなく、依頼者の希望が通らない可能性が高い場合には、はっきりと伝えることも大切です」と語った。そして、問題がうまく解決して、喜んでもらえる自分もうれしいと話す。

「開業して間もないのですが、これから一件一件事案を解決して、認知度を高め、市民の皆さんに信頼していただける仕事をしていきたいです。事務所まで足を運べない方には、こちらから出向いてお話を聞くこともできます。困っている事があれば、気軽に相談してほしいですね」と笑顔を見せた。弁護士の仕事は地味だが、人を助けることにやりがいを感じている。その働きは、地域の大きな力になるだろう。

